

きょうさんざん
京山々レトロ

木の家づくりについてのご相談は、お気軽に下記まで。



相談受付 / 土、日、祝日の10:00AM~4:00PM
相談方法 / 相談内容に応じた専門家と時間調整の上、相談を行います。

相談料 / 無料
〒604-8416 モデルハウス現場:
京都市北区紫野東御所日町1-9

TEL/FAX
075-432-7997
mail: mail@kyo-sanzan.jp

<http://www.kyo-sanzan.jp>

京山々レトロは、住宅に「レトロ感」=「質感」を持ち込む新しい手法です。



京山々・木の家づくりの会では、「京山々レトロ」という商品を開発し、それを支える手法も開発しました。

《1》素材のレトロ感

古材ゴロンボと言う一度使われた梁を再度家づくりで用います。ゴロンボ古材を加工して板として再利用します。

《2》建具のレトロ感

引戸文化を提唱すると共に、古建具を新築住宅に使います。又、新建具をレトロ加工を施します。建具の新しい味わいを演出します。

《3》素材のエイジング加工

フローリング材や壁材を退色させたり、レトロ感を出す加工を開発しました。

《4》古い部材の質感

ステンドグラス、ロートアイアン、古石など一度使われた部材を建物にと選りこむ手法を開発しました。

※この建物を再現するには、必ずこのページまでご連絡下さい。

■古材ゴロンボの活用



古材のゴロンボを新築の住宅に用いることができます。新材を古色に仕上げ、古材と一緒に用いることもできます。

■職人の技の活用



職人の技を使うと、質感のある表情がでます。素材を無垢材を用い、加工を職人の手で行うと味わい深い仕上げになります。

■古材の再利用



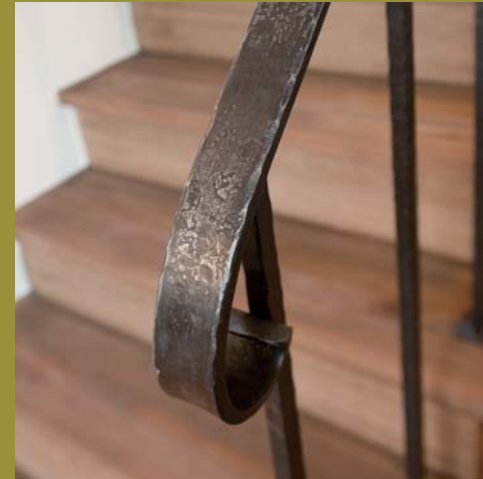
写真の壁の板は、古材のゴロンボを加工した板です。古材が無垢材であれば、様々な再利用が可能です。そして、それは味わいを持つのです。

■エイジング加工



新しい材料も、時間経過による退色や風合いを出す手法があります。新築住宅にレトロ感を持ち込む場合は、この手法が効果的です。

■ロートアイアン



鉄を熱してたたくと、鉄は柔らかな表情を持つ。そして、木と相性の良い風合いを醸し出す。木の良さが引き立ち、空間が開けます。

■古建具の利用



古建具を新築住宅に持ち込むためには、寸法の調整が必要ですが、コストバランスを考えると導入する価値が充分にあります。